

日本精神保健社会学会

平成 24 年 9 月 1 日

THE JAPAN ASSOCIATION OF
MENTAL HEALTH SOCIOLOGY

事務局：東京都豊島区西池袋 2-39-8

ローズベイ池袋ビル 3F

<日本学術会議学術研究団体 No. 1001>

東京メンタルヘルス株式会社内

TEL 03-3986-3220 FAX 03-3986-3240

ニュースレター第 46 号

発行人：宗像恒次 編集人：上田敏子、窪田辰政

第 18 回学術大会・総会のお知らせ（最終版）

- 開催日：平成 24 年 10 月 20 日（土）
- 会場：東京医科歯科大学湯島キャンパス 1 号館西 7 階 第 3 講義室
東京駅から 5 分、J R あるいは地下鉄御茶ノ水駅前
- 大会テーマ：「自己肯定を支える社会」
大会実行委員長 岡山県立大学保健福祉学部教授 香川幸次郎

●プログラム

第 1 部（10：00～12：00）

- | | |
|-------------|--------|
| 10：00～ | 一般演題発表 |
| 12：00～ | 昼食・休憩 |
| 13：00～13：30 | 学会総会 |

第 2 部（13：40～16：30）

<シンポジウム>

ファシリテーター 畠中宗一（大阪市立大学教授）

1. 「知的障害児、発達障害児から学ぶ、自己肯定できる社会」

池内玲子（NPO 法人東京メンタルヘルス・スクエア認定カウンセラー、産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント、心理相談員）

自身が知的障害児を療育する中で、悩み、学び、気づき、やがてカウンセラーとしての活動を始めた。「まあいいか」と赦せる時、「ちょっと待ってあげよう」と気遣える時、人は相手を尊重すると同時に、自己を肯定しているのだと思う。

2. 「トランスジェンダーを生きて…性同一性障害の当事者から見た社会の生き辛さ
～恋愛、仕事、家族、夢」

熟田桐子（TMA 認定カウンセラー、NNR 認定結婚カウンセラー）

幼少期より自分の性に違和感を覚え、ホルモン投与から S R S (性別適合手術) を受けてきました。特例法により戸籍の性別変更の手続きを行っています。当事者からみた社会や恋愛や仕事や夢について語りたいと思います。

3. 「自己肯定感をつくりだす社会とは」

宗像恒次（筑波大学名誉教授）

国際比較調査で青少年の自己肯定感の高い国々は、他者の主張を否定しないできく文化をもつ社会であり、他者の意見を確認したうえで自分の意見も主張する社会である。

ディスカッサント 武藤清栄（東京メンタルヘルスアカデミー所長）

17：30～ 懇親会

参加費：1) 一般 4,000 円 会員 3,000 円 学生 2,000 円（学生証のコピーが必要）
2) 懇親会 4,000 円
3) シンポジウムのみ参加 一律 2,000 円

★★一般演題の抄録提出について★★

一般演題の発表者は 9 月 10 日（月） までに、事務局まで抄録を提出してください。

（抄録枚数：A4 用紙 1 枚程度 書式：タイトルは中央揃え、氏名（所属）は右寄せ。本文の構成については特に指定はありません。）



本学会会長 宗像恒次

本年 3 月に筑波大学を退職しましたが、引き続き筑波大学名誉教授として研究業務は期待されています。その職はかつてとは異なり単なる名誉職ではありません。だから筑波大学に自由にアクセスして研究文献の検索や図書館利用が出来ます。文科省科学研究費助成金も取得できます。研究費でお金を払えば筑波大学に研究室も取得できます。

私の場合、自宅のある船橋から大学までは少し遠いので、市川市南八幡にマンションを借り、「人類のユニバーサル・ヘルス実現のための健康行動科学的研究」を実施するという目的で設立した健康行動科学研究所 http://www.kksds.com/?page_id=2169 で研究業務を続けています。

本年度の研究テーマは、ユニバーサル・ヘルスを妨げるサバイバー症候群の克服に関する研究、うつ病者と家族のための Web 自己カウンセリングシステムに関する研究、うつ病のバイオマーカーの基礎研究、うつ病のセルフセラピーに関する研究です。研究結果は、今年 9 月 15・16 日に筑波大学東京キャンパスで開催されるヘルスカウンセリング学会学術大会において、私どもの研究員によって発表されます。

また NPO 法人 SAT 療法センター <http://www.healthcounseling.org/sattherapycenter/> として週 3 回の臨床活動をしています。得意分野は、不安・不眠、うつ・躁うつ、妄想・幻聴、職場関係・就労・復職、婚活・夫婦関係、子育て・親子関係・家族関係、原因不明の痛み・慢性疼痛、生きづらさ・生き方問題、がん・慢性病、トラウマ・PTSD です。

また筑波大学発ベンチャー株式会社 SDS (SAT delivery system) の社長業務もあります。30 年前から開発を続けている SAT 法の全国資格セミナー研修を請け負っている(会社化する以前を含めると 20 年以上も続けている) 会社です。今では、中国やヨーロッパでも研修をするようになりました。今年 9 月から展開される SAT カウンセラー・セラピスト有資格者が skype による SAT カウンセリング、SAT セラピーの SATLINE www.sat-counseling.com の担当会社でもあります。

土日は、市民、企業、学校を対象として講演講師をしています。定期的に東北震災関係地域の「震災ストレスや放射能ストレスに負けない」をテーマとする現地講演会開催、現地支援者養成研修も開催しています。

関連学会情報

日本体育学会第 63 回大会に参加して

窪田辰政¹⁾、佐藤優香²⁾

(1)静岡産業大学、(2)筑波大学

2012 年 8 月 22 日～24 日の 3 日間にわたり、東海大学湘南キャンパスにて「第 63 回日本体育学会」が開催された。「武と文・理の融合—体育・スポーツの原点を求めて—」と題し、各大学の研究者、専門家により、体育・スポーツ・福祉・健康といったテーマの口頭・ポスター発表やシンポジウムが行われた。大会の様子とポスター発表に参加した筆者の報告をする。

学際的シンポジウムでは、『「健康寿命」を問う、体育学に何ができるのか—体育学の役割と課題—』というテーマのもと、人文科学、社会科学、自然科学など 6 つの領域から「健康寿命」を議論し、高齢社会における体育学の役割や課題を検討した。谷口幸一氏（東海大学）は「サクセスフル・エイジングに資する運動の心理学的背景」と題し、高齢者が運動に取り組む動機づけや期待される運動指導のあり方、ライフスタイルと性格特性の関連、生きがいとソーシャルサポートの関連などの話題を提起し、高齢者の身体的・精神的・社会的機能の維持のための運動の在り方を考察した。

体育心理学のキーノートレクチャーでは、「体育・スポーツと心理社会的スキル教育」と題し、杉山佳生氏（九州大学）が、身体教育・活動と、「対人スキル」、「ストレス対処スキル」、「問題解決スキル」などの心理社会的スキル教育のつながりを吟味し、体育・スポーツ活動が心理社会的教育・研究のために担うべき役割を考察した。

筆者は「中学生における運動行動の変容段階とストレス反応の関連」の研究結果として、中学生の身体不活動の実態と、運動行動の変容段階とストレス反応の関連性、両者に性差や学年差が存在し、教育介入の際には考慮する必要があることなどを報告した。参加者からは、今後の研究を進める上で貴重な意見を頂いた。また、「高校弓道部員への心理支援について—前向きな自己イメージと精神的安定のために—」と題した山口豊氏(筑波大学)との共同研究報告では、SAT イメージ療法を用いた結果、弓道部員の自己イメージが肯定的なものへと改善された事例をもとに、本療法の自己イメージと精神安定のための心理支援プログラムとしての有効性を発表した。

全体を通して、様々な分野と協力することで、体育・スポーツはより幅広い人々の身体的・精神的健康の維持や改善をもたらすことを再認識した。多面的視点からの報告を得られ、大変有意義な学会であったと考えられる。

年報及び大会抄録集残部のお知らせ

過去の年報および学会抄録集について販売いたします。年報については、Vol.1～13までは1,500円、Vol.14以降は2,000円、学会抄録集は500円で販売いたします（いずれも税込）。年報の残部は残りわずかですので、ご希望の方は学会事務局までお早めにお申し込みください。送付の際に郵便振込票を同封しますので受取後郵便振込でお支払い下さい。

- 年報（1996 Vol.2, 1997 Vol.3, 2000 Vol.6, 2004 Vol.10, 2005 Vol.11, 2006 Vol.12, 2007 Vol.13, 2008 Vol.14, 2009 Vol.15, 2010 Vol.16, 2011 Vol.17）
- 大会抄録集（1997年, 1998年, 2000年～2002年, 2004年～2007年）

お知らせ

本学会では、昨年の震災で甚大な被害を受けた福島県いわき市久之浜にて、宗像会長による講演会を開催することになりました。関心のある方はお誘い合わせの上ご来場ください。（詳細は本学会 HP <http://www.jamhs.org/> にて掲載しています）

一般公開市民講座「放射能に負けない子どもと家族のストレスケア」

講 師：宗像恒次（筑波大学名誉教授）

日 時：2012年9月17日（月）13：30～15：00

場 所：いわき市立久之浜公民館 1階講堂

